

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雨竜町	雨竜地区	令和4年3月30日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	3,530ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	2,541ha
③地区内における65才以上の農業者の耕作面積の合計	444ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	305ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	42ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	207ha
(備考) ※アンケート調査回答率:84.4%	

2 対象地区の課題

地区全体としては高齢化が進み後継者不足が深刻な課題となっている。また、後継者がいないため第三者継承を検討している農業者もいるが、これまでの農地流動化により個々の賃貸を含む耕作面積は増加しており、今後の農業者の減少は耕作放棄地を発生させる懸念がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

高齢の経営者や農地の異動が少なく、現状維持農家が多い集落については当面地区内の農業者で対応するが、引き受けが既に難しくなっている地域では地域外から中心経営体を受け入れて対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地中間管理機構の活用方針
将来の経営農地の集約化を目指し中間管理機構と連携して中心経営体への貸付を進め、さらに売買事業等も活用しながら集積を図る。

基盤整備への取組方針
農地の大区画化・汎用化を契機に農地集積を促進し、東栄第1地区・第2地区の営農経費削減による余剰労力の創出と高収益作物の作付拡大で競争力のある攻めの農業の実現に寄与する。

鳥獣被害防止対策の取組方針
有害鳥獣等による農林業被害、住民生活被害等の防止のため、監視カメラや罠の設置による捕獲体制の強化に取り組む。